

第2次十和田市総合計画後期基本計画策定に係る
市民アンケート実施結果



企画財政部政策財政課
政策企画係

令和3年11月

第2次十和田市総合計画後期基本計画策定に係る 市民アンケートの実施概要

○調査の目的

第2次十和田市総合計画後期基本計画策定のため、施策(前期基本計画)に対する市民の意見や今後の十和田市に望むことなどを聴取し、後期計画策定における重点課題や重点プロジェクトを検討する際の参考とするため。

○調査実施方法等概要

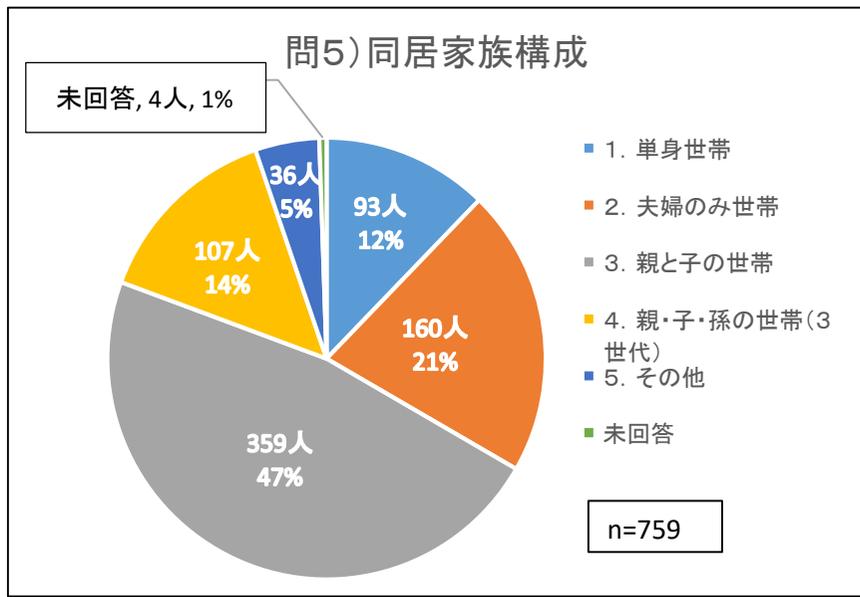
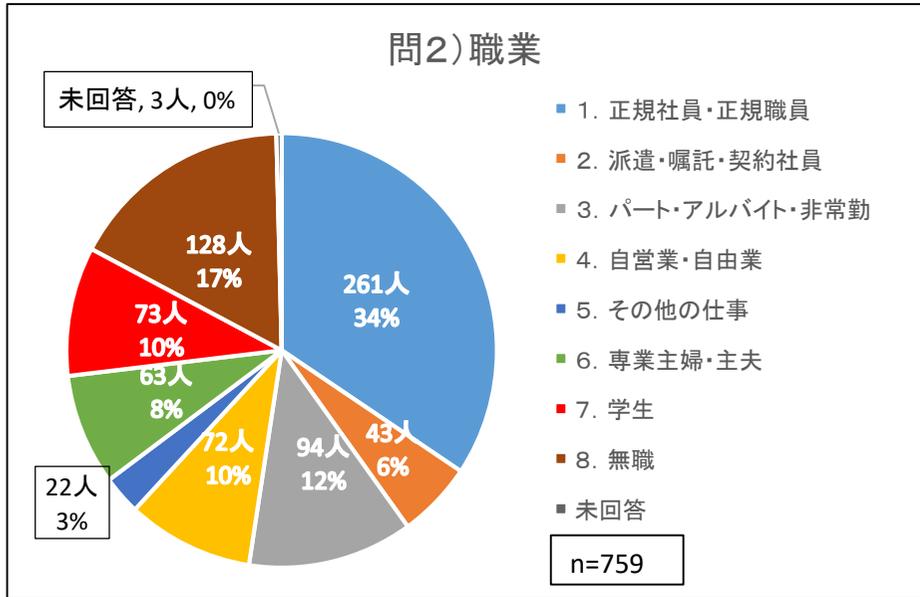
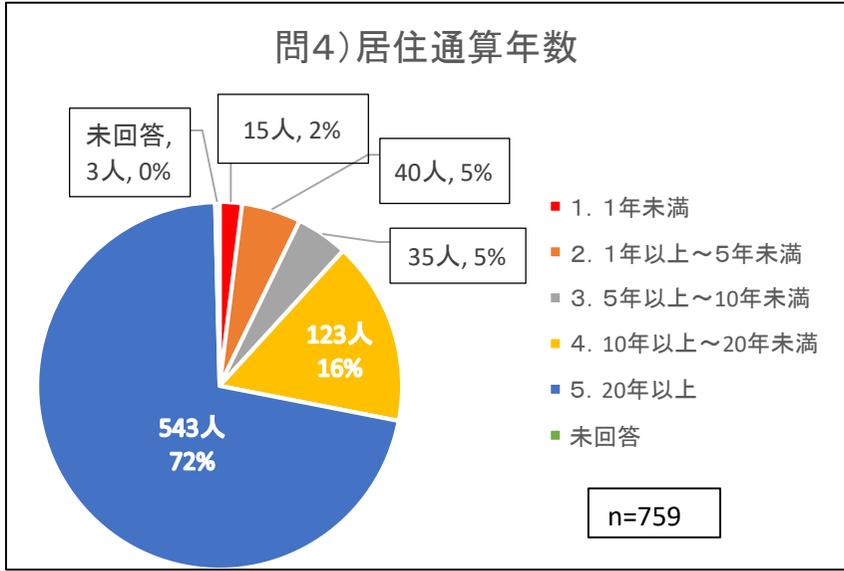
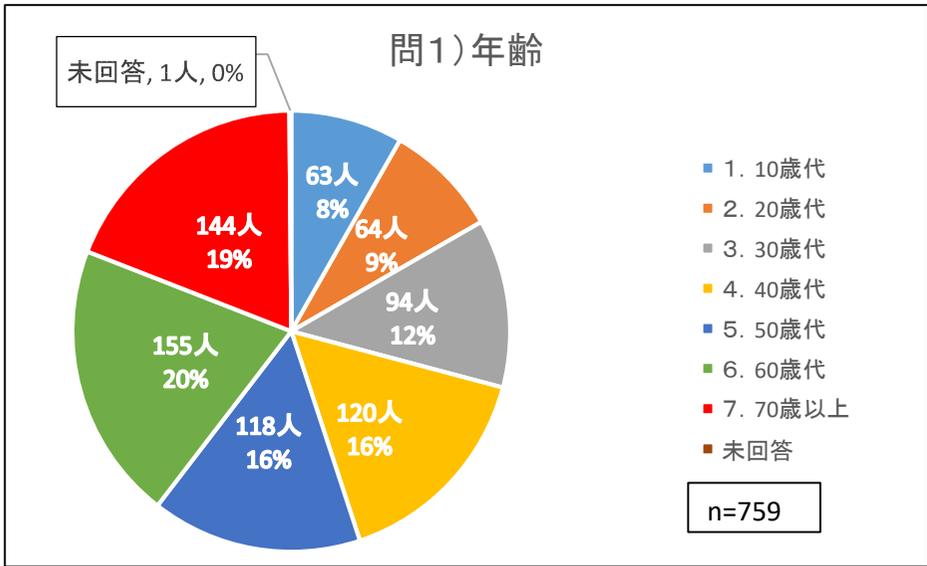
- ・調査対象 16歳以上の市民から無作為に2,000人
※年齢の偏りを防ぐため、年齢ごとに無作為抽出を実施

16歳～19歳	150人
20歳代～60歳代	各300人(計1,500人)
70歳以上	350人

- ・調査期間 令和3年9月17日～10月8日
- ・調査方法 調査依頼及び調査票を郵送し、専用の返信用封筒によって回収を行いました。
併せて、電子申請システムを活用し、インターネットによる回答の受付を行いました。

○回収状況

- ・回収総数 759人/2,000人
- ・回収率 38%
- ・回収方法内訳
 - 郵送による回収 635人
 - インターネット回収 124人

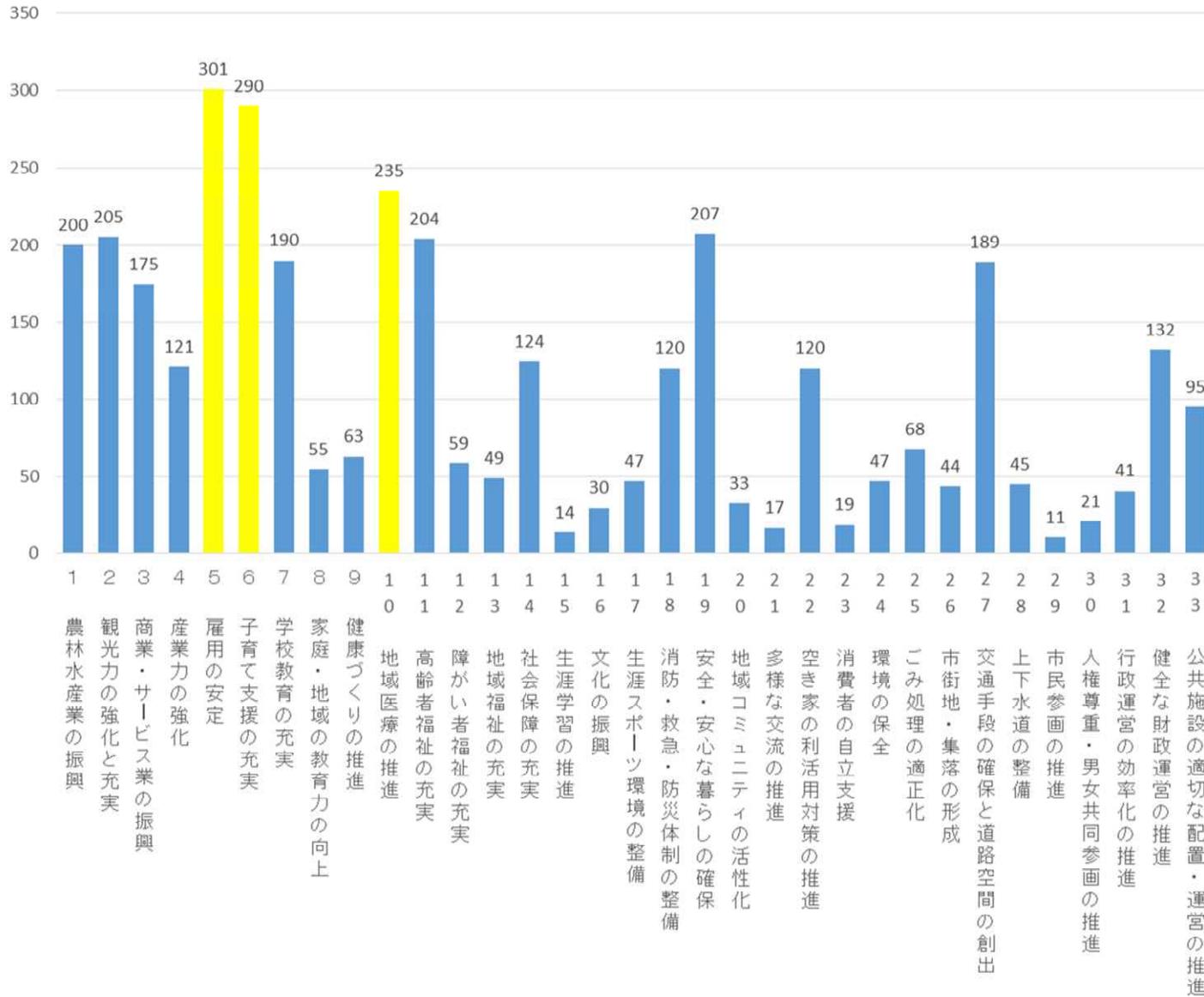


問6) 市政全般に対する満足度・重要度	1 満足	2 まあ満足	3 ともいえない どちら	4 やや不満	5 不満	未回答	1 重要	2 まあ重要	3 ともいえない どちら	4 重要でない あまり	5 重要な ない	未回答
1. 農林水産業の振興	22	139	476	85	25	12	306	226	171	7	2	47
2. 観光力の強化と充実	16	171	297	195	71	9	323	255	115	21	9	36
3. 商業・サービス業の振興	15	95	293	239	103	14	302	282	123	12	2	38
4. 産業力の強化	10	73	397	189	78	12	292	253	162	10	4	38
5. 雇用の安定	13	90	330	207	106	13	423	204	87	7	2	36
6. 子育て支援の充実	18	152	363	145	72	9	408	185	121	10	2	33
7. 学校教育の充実	29	162	402	89	65	12	369	215	135	4	2	34
8. 家庭・地域の教育力の向上	19	131	457	102	37	13	273	243	195	10	3	35
9. 健康づくりの推進	24	242	373	86	25	9	252	273	183	12	5	34
10. 地域医療の推進	23	194	296	155	82	9	412	218	92	2	2	
11. 高齢者福祉の充実	34	199	374	101	43	8	300	249	149	14	13	34
12. 障がい者福祉の充実	22	126	480	87	34	10	255	236	210	16	6	36
13. 地域福祉の充実	17	142	445	110	25	20	220	243	219	17	13	47
14. 社会保障の充実	20	104	444	125	50	16	274	243	178	14	10	40
15. 生涯学習の推進	25	142	492	73	14	13	140	221	298	38	20	42
16. 文化の振興	24	165	466	75	18	11	131	243	299	38	9	39
17. 生涯スポーツ環境の整備	42	203	400	70	31	13	110	278	271	48	13	39
18. 消防・救急・防災体制の整備	77	318	295	46	12	11	366	210	134	9	4	36
19. 安全・安心な暮らしの確保	60	277	319	66	24	13	366	225	117	7	7	37
20. 地域コミュニティの活性化	19	146	516	52	15	11	124	228	314	37	22	34
21. 多様な交流の推進	21	87	560	57	19	15	96	203	347	55	20	38
22. 空き家の利活用対策の推進	8	37	421	206	75	12	181	263	240	34	10	31
23. 消費者の自立支援	12	111	507	86	24	19	173	254	269	18	10	35
24. 環境の保全	36	183	419	73	24	24	228	260	217	8	5	41
25. ごみ処理の適正化	77	299	278	73	23	9	267	280	173	7	4	28
26. 市街地・集落の形成	25	120	474	95	23	22	165	223	296	26	7	42
27. 交通手段の確保と道路空間の創出	19	136	254	221	110	19	295	257	146	18	5	38
28. 上下水道の整備	95	285	273	66	31	9	67	54	38	7	589	4
29. 市民参画の推進	16	101	573	33	18	18	81	172	416	38	11	41
30. 人権尊重・男女共同参画の推進	25	124	519	57	17	17	137	226	321	27	13	35
31. 行政運営の効率化の推進	20	103	462	107	40	27	185	237	277	14	3	43
32. 健全な財政運営の推進	24	92	435	124	68	16	304	219	191	5	4	36
33. 公共施設の適切な配置・運営の推進	24	139	351	162	67	16	223	257	215	19	7	38

○「18.消防・救急・防災体制の確保」、「ごみ処理の適正化」、「上下水道の整備」については、満足度が高かった。

○多くの施策について重要と考えられているが、特に「4. 産業力の強化」、「5. 雇用の安定」、「10. 地域医療の推進」については重要と考えられている。

問7)33の施策の中で今後優先して実施すべき施策(5個まで回答可)



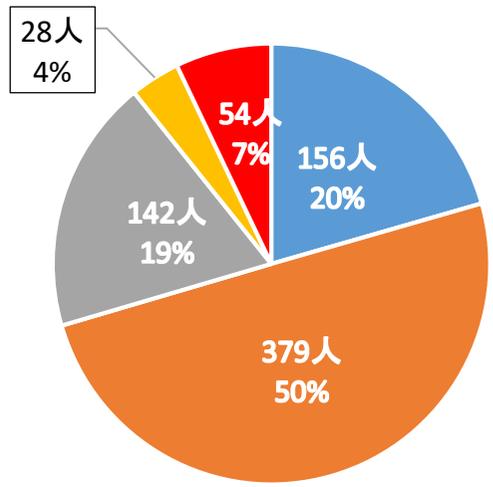
○今後の優先施策としては、問6においても重要と考えられていた「5 雇用の安定」、
「10 地域医療の推進」に加え、
「6 子育て支援の充実」
を優先すべきとされた。

問8)前期基本計画における重点プロジェクトの取組状況	1 取組が進んでいる と感じている	2 取組が進んでいる とやや感じている	3 取組が進んでいる とあまり感じられない	4 取組が進んでいない と感じられない	5 わからない	未回答
1. より多くの所得を生み出せる産業競争力の強化	39	235	296	121	51	17
2. 次世代のまちづくりを担う子どもたちへの支援の強化	38	190	308	132	78	13
3. すべての市民が健やかに生き生きと暮らせる環境の充実	39	244	293	103	68	12
4. 安全・安心で快適な暮らしを支える諸機能の維持・向上	38	232	307	105	63	14
5. 持続可能なまちづくりを支える強固な自治体経営の確立	36	199	299	114	96	15

○重点プロジェクトの取組状況については「3. 取組が進んでいるとあまり感じられない」との回答が多かった。

問9

問9)まちの住みよさ



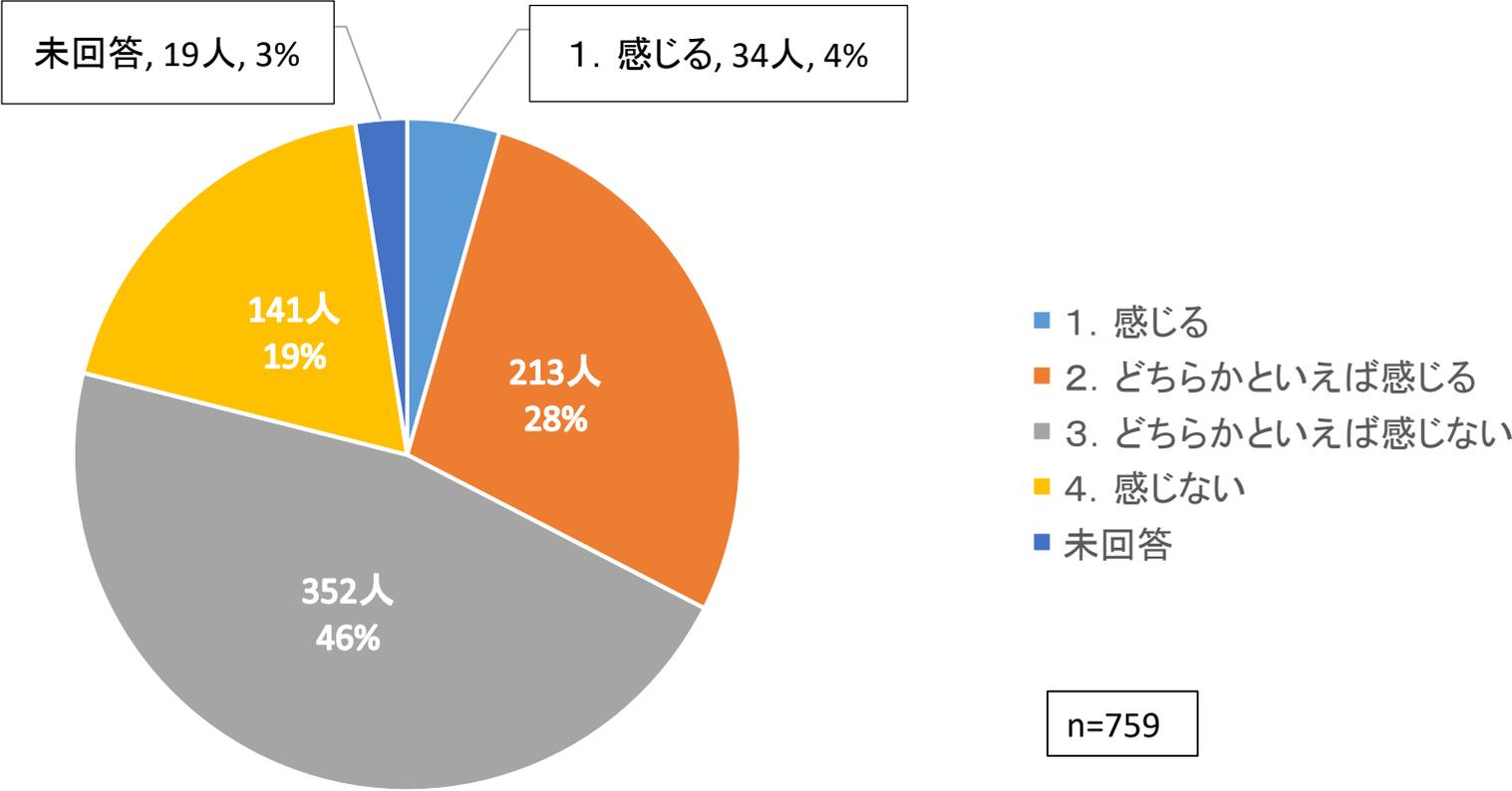
- 1. 住みよい
- 2. どちらかといえば住みよい
- 3. どちらかといえば住みにくい
- 4. 住みにくい
- 未回答

n=759

○住みよさについては、「1. 住みよい」「2. どちらかといえば住みよい」との回答が70%以上を占めた。
 ○「住みよい」理由については、自然災害の少なさや自然の豊さがを挙げる回答が多かった。
 ○「住みにくい」理由については、休日を過ごす場の少なさや働く場の不足、交通環境の整備不足を挙げる回答が多かった。

(問9で「1. 住みよい」または「2. どちらかといえば住みよい」と答えたかた)		(問9で「3. どちらかといえば住みにくい」または「4. 住みにくい」と答えたかた)	
1. 自然が豊か	354	1. 自然が少ない	5
2. 道路の整備や公共交通が充実してる	63	2. 道路の整備や公共交通が充実していない	100
3. 買い物が便利	197	3. 買い物が不便	50
4. 医療・福祉が充実している	64	4. 医療・福祉が充実していない	77
5. 子育て・教育環境が充実している	31	5. 子育て・教育環境が充実していない	59
6. 自然災害の発生が少ない	459	6. 自然災害の発生が多い	0
7. 治安が良い	257	7. 治安が悪い	12
8. 働く場が多い	5	8. 働く場が少ない	100
9. 休日等を楽しめる場が充実している	13	9. 休日等を楽しめる場が充実していない	122
10. 地域の間人間関係が良い	82	10. 地域の間人間関係が悪い	19
11. その他	12	11. その他	16

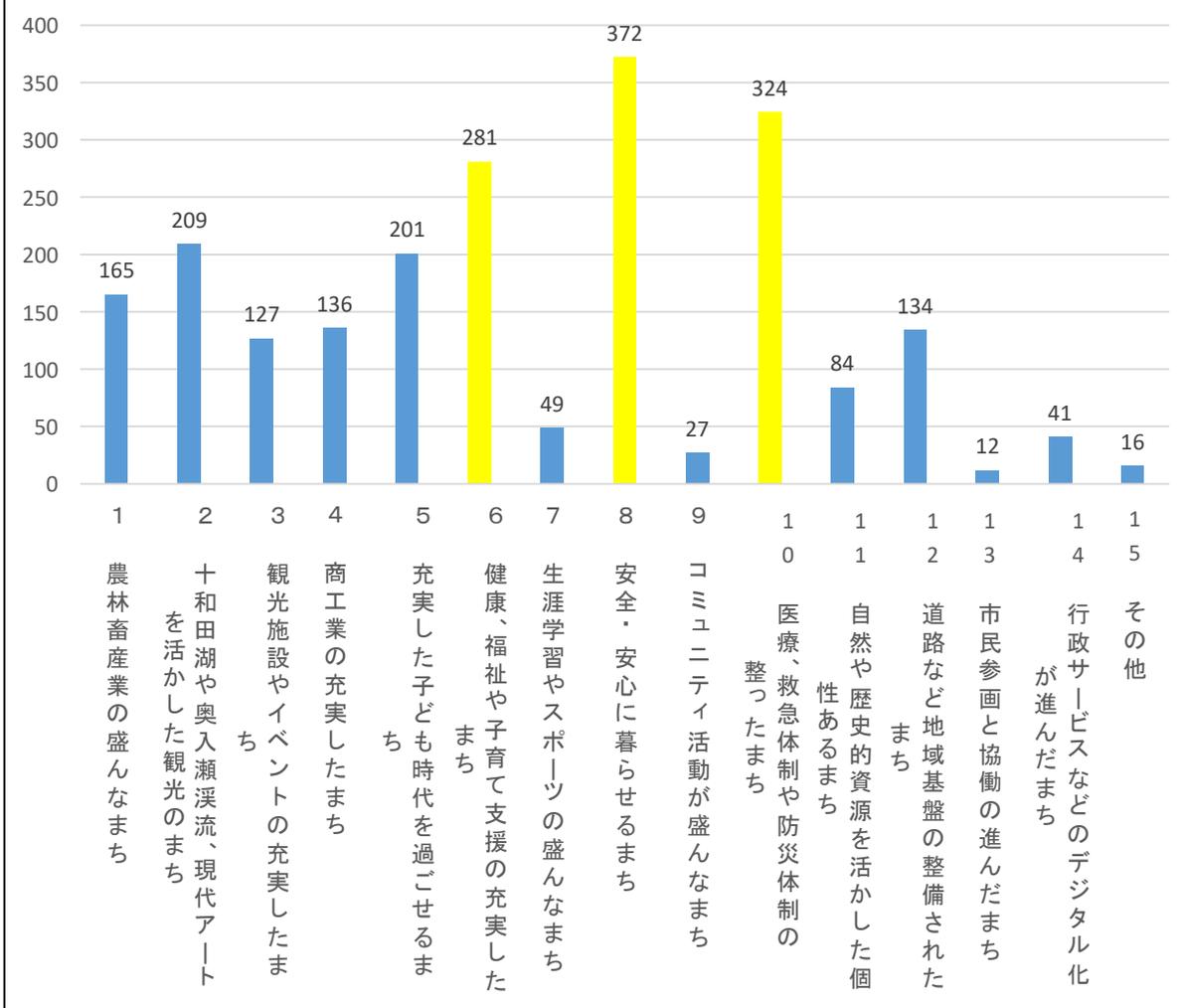
問10) 市民参画と協働のまちづくりの充実度



○市民参画と協働のまちづくりの充実については、「3. どちらかといえば感じない」、「4. 感じない」が65%を占めた。

問11

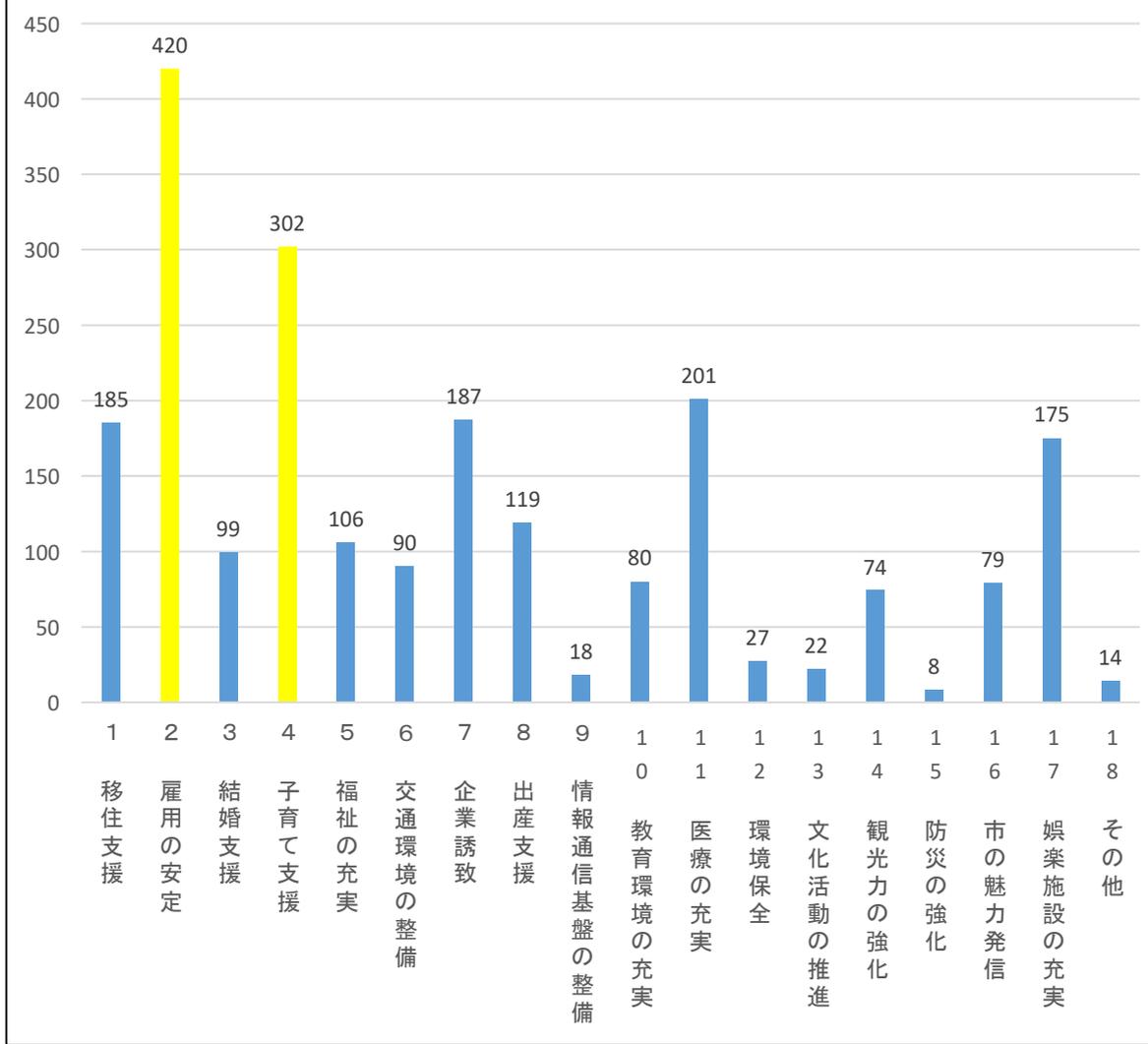
問11)十和田市に期待する将来像



「その他」の回答内容
自然や歴史など観光を生かした、農林畜産、商工業の盛んなまち
休日に遊べる場所があり、八戸、七戸、五戸からも人が来る町
休日等を楽しめる場の充実
水道料金を安くしてほしい
競争意欲のある色々な趣味へ向けた店がある町(飲食ファッションアニメスポーツなど)
飲食店が充実したまち(美味しいラーメン屋、美味しいパン屋)
交通手段がたくさんありどこへでも行けるまち
他の町にはない自然に人が集まりたくなる様な場所
キャンプ場など自然を活用した娯楽施設のあるまち
公共交通の便が悪い。市営のバスや電車がなくて、十和田市には住めない。だから市外県外へ行く人が多いと思う。
公共交通の充実
市の借り入れがなく安心して暮せる市
モータースポーツ(バイク、自転車)等の施設
10代・20代が楽しく過ごせるまち
先が読める進んだ町
市立病院の産科の復旧、安心安全なお産ができる街、行楽施設で若者を呼べて雇用も生まれて魅力ある街
子どものいる人だけではなく単身者にとっても住みやすくなるといい

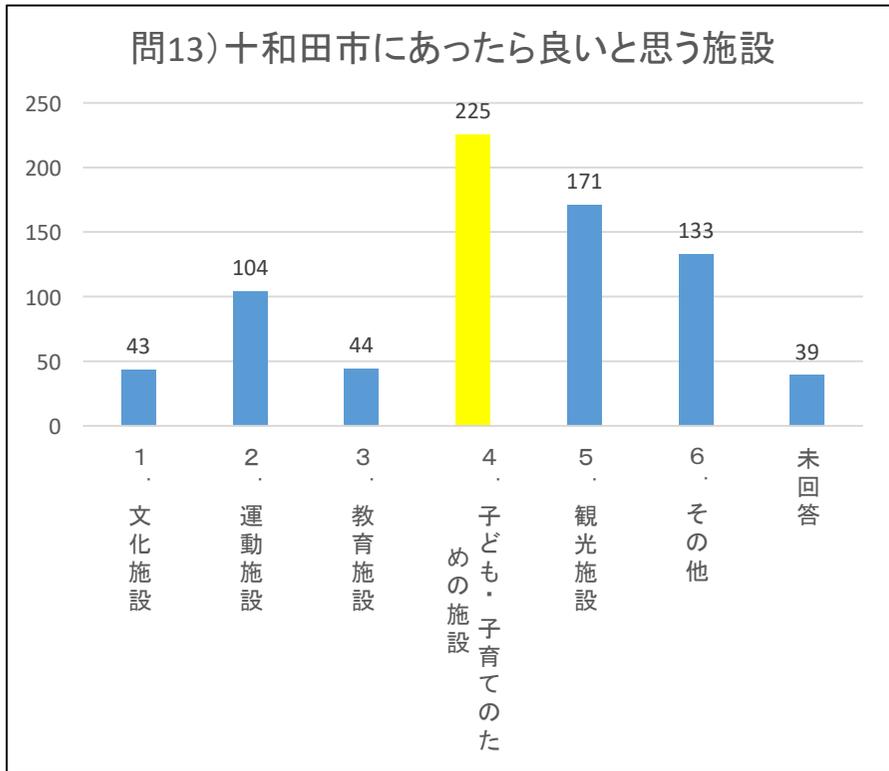
○市に期待する将来像は「8 安全・安心に暮らせるまち」が最も多く、次に「10 医療、救急体制を活かした個性あるまち」が多かった。

問12) 人口減少対策のために重点的に取り組むべき施策



「その他」の回答内容
畜産に力を入れる
不要、一時しのぎ
県外へ進学し、地元への就職を希望する者への支援 小さな市町村であるほど、いくら希望しても地元の受け皿がなく、公務員のご子息の方々が有利に就職している感は多くの方が否めなく、実際に高度な教育を受けても地元で活かしていただける若い人が少ない事が残念。もっと力を入れて欲しい。若い方中心に(コロナが収束したら)旅行券を発行。(1年に5万円程度)そのための休暇を取れるよう企業に保障を出す。ディズニーランドやUSJで2日くらい楽しめるくらいの金額が妥当かなと思います
公共料金を安くする
町中に大型スーパー、デパート
大型商業施設をつくる
騒音を出す家や、学校・地域のルールを守らない家庭への指導
不妊治療への支援
税金を減らす!
信頼できる情報発信のスピードと対応力
安心に暮らせるような警備の強化
賃金引き上げの強化
基本賃金のアップ
水道料金が高い!
子育て・出産支援が必要だと思うが、単身者でも雇用が安定して給料水準もあがって全国平均給料もある程度あれば。うまく言えないが子供がいない人が住みやすい十和田市にな

○人口減少対策として取り組むべき施策として「2 雇用の安定」、「4 子育て支援」の回答が多かった



○市にあつたら良いと思う施設としては「4 子ども・子育てのための施設」が一番多かった。
 ○「6 その他」の回答では商業施設・娯楽施設関係の回答が多く、問9における「住みにくい」理由の「休日を過ごす場所が少ない」という回答が多い傾向と一致していた。

その他
商業施設、娯楽施設 53件 (ショッピングモール 14件、映画館(屋外シアター) 3件、キャンプ場 2件、アニメイト 1件、水族館 2件、動物園 1件、健康ランド 1件、1日中遊べるパーク施設 1件、ビアホール 1件)
いない。ない。(12件)
スポーツ施設 8件 (バスケットコート(屋外) 1件、屋根付すもう場 1件、市営の温水プール 1件)
病院等医療施設 7件 (上十三地区十和田総合健診センター)
子供や若い人の遊び場(子育て施設) 5件
動物施設、ドッグラン 4件
工場体験施設、職業体験施設 3件
レジャー施設 2件
公園 2件(屋内の広い公園・遊具があつたり、大きな公園)
市内からあまり遠くない場所に公共の温泉施設 2件
カフェテリアみたいな休憩場所
会社
防災施設
駅
ミュージアム
個性的な市をアピールできる施設
家族で楽しめる施設
飲食店
研究施設
閉店した商店の活用
バス待合所
JRA場外馬券施設
十和田インターチェンジ
家にこもりがらな老人が積極的に出かけ教育、運動、コミュニケーションをつくれる施設
商店街に復活して欲しい。
中高生が話し合いながら勉強できる施設
同じ様な施設がありすぎだと思う。これ以上はいない!
今のところ施設等は必要ないと思う。社会福祉へお金を使う様に願う。
子供を教育、運動する施設等に通わせたい時、親が仕事をしている等、代わりに祖母、担当が出来る人はしますが、高齢で車の運転が出来なくなった時、送迎してくれるマイクロバスみたいな物があればいいかなと思います。